

京都府の地震活動

令和5年（2023年）9月

第36巻第9号

京都地方気象台

目次

震央分布図、概況	・・・1
震央分布図、断面図	・・・2
京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度一覧表	・・・3
京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度分布図	・・・4
【地震一口メモ】11月5日は津波防災の日です	・・・6

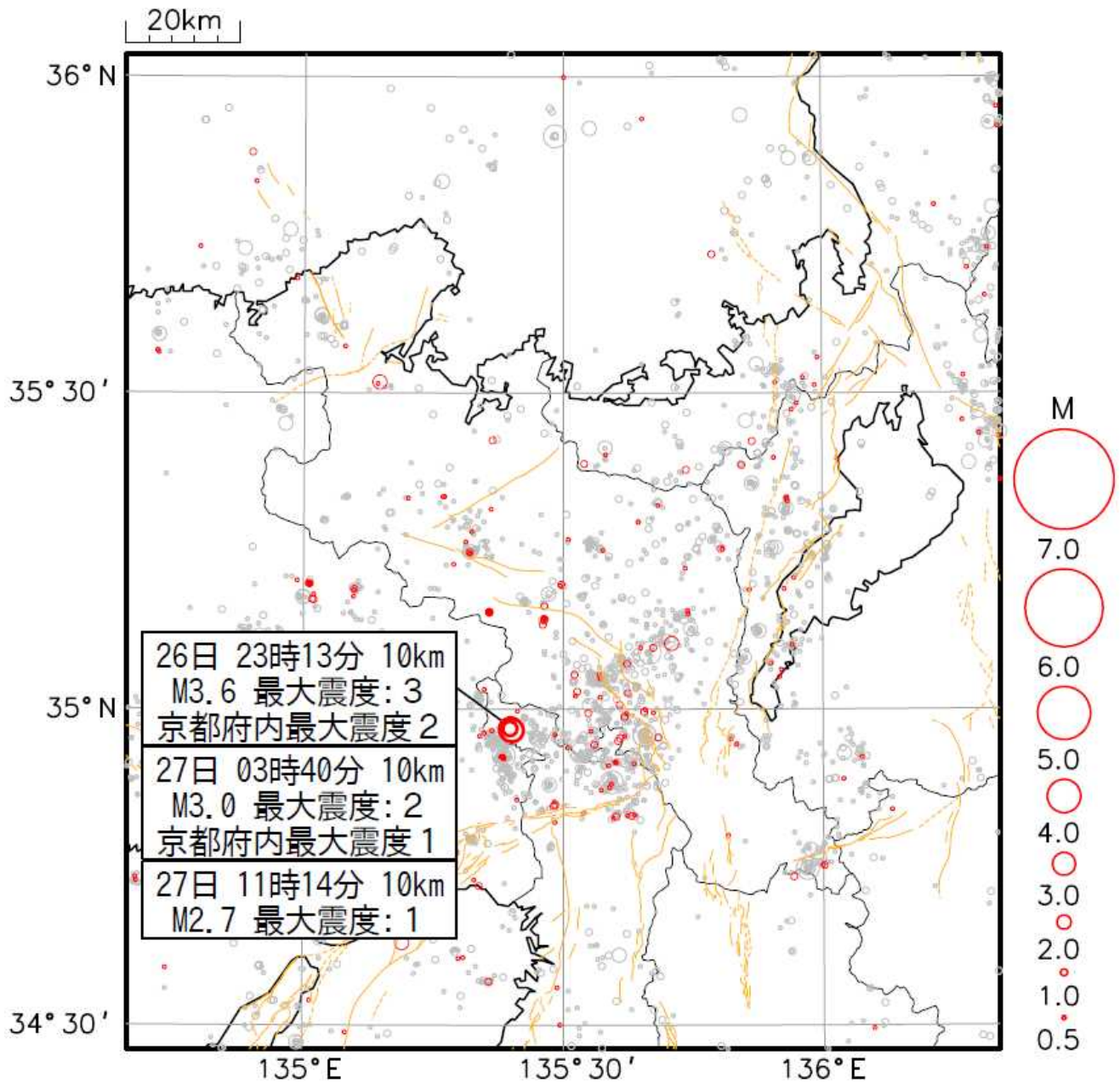
『京都府の地震活動』は、京都府及びその周辺の地震活動状況を解説するとともに、地震防災知識の普及に資するため、毎月刊行しています。

本誌に掲載した震源要素、震度データは、再調査された後、修正されることがあります。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

震度データは、気象庁の震度計の観測データに併せて地方公共団体及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものを掲載しています。

震央分布図（マグニチュード0.5以上、深さ0～80km）



- ・(2022年10月1日～2023年9月30日、深さ0～80km、M \geq 0.5)
- ・2023年9月の地震を赤く表示（総数236）
- ・震源を表す「○」の記号は、マグニチュード（M）の大きさに対応したサイズで表記。
- ・震度1以上を観測した地震には、日時、深さ、マグニチュード（M）、最大震度及び京都府内で震度を観測した地震については京都府内最大震度を付記。
- ・橙色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

概況

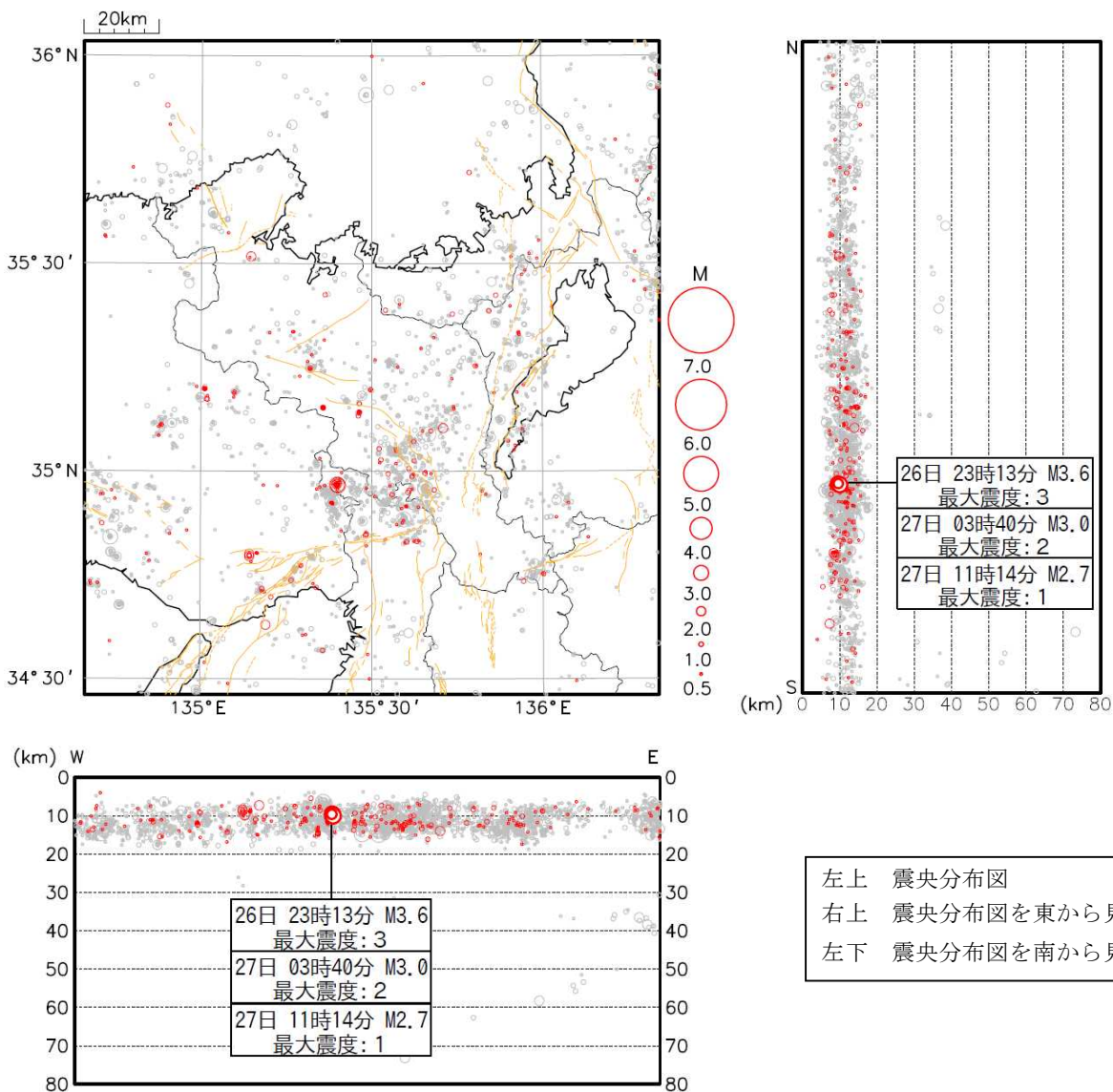
9月中、震央分布図内で観測したマグニチュード2.0以上の地震は8回、震度1以上の揺れを観測した地震は3回でした（8月はそれぞれ5回、1回）。

京都府内で震度1以上を観測した地震は2回ありました（8月は2回）。

26日23時13分 大阪府北部の地震（深さ10km、M3.6）により、京都府亀岡市で震度2を観測したほか、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県で震度3～1を観測しました。

27日03時40分 大阪府北部の地震（深さ10km、M3.0）により、京都府亀岡市で震度1を観測したほか、大阪府、兵庫県で震度2～1を観測しました。

震央分布図、断面図（マグニチュード0.5以上、深さ0～80km）



左上 震央分布図
 右上 震央分布図を東から見た断面図
 左下 震央分布図を南から見た断面図

- ・ (2022年10月1日～2023年9月30日、深さ0～80km、 $M \geq 0.5$)
- ・ 2023年9月の地震を赤く表示（総数236）
- ・ 震源を表す「○」の記号は、マグニチュード（M）の大きさに対応したサイズで表記。
- ・ 震度1以上を観測した地震には、日時、マグニチュード（M）、最大震度を付記。
- ・ 橙色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

深さ数 km～約 20km に分布している地震は陸側のプレート内で発生した地震（地殻内地震）、深さ約 30km～約 60km に分布している地震は、沈み込むフィリピン海プレート内の地震です。

京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度一覧表（2023年9月）

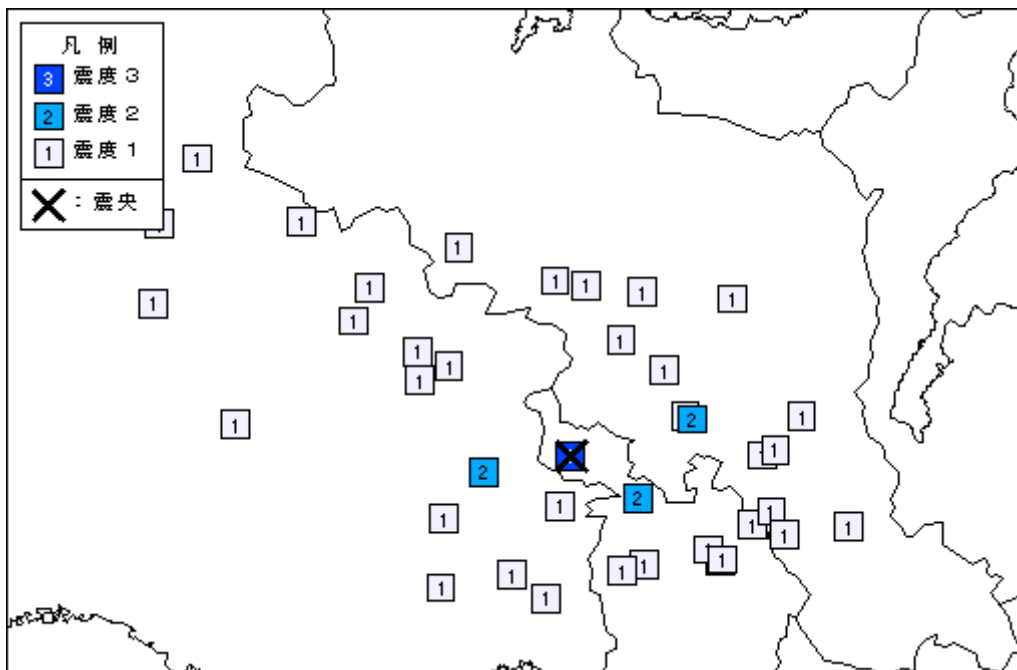
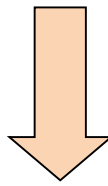
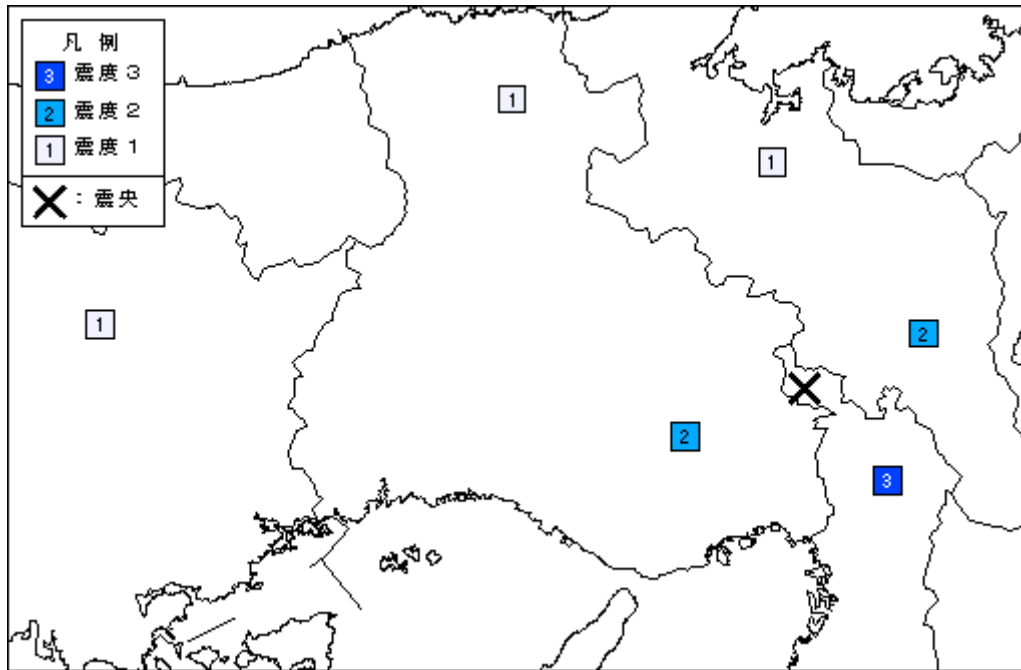
番号	観測日時		震央地名	北緯	東経	深さ	規模
	月日	時分		(度分)	(度分)	(km)	(M)
①	9月26日	23:13	大阪府北部	34°58.1′	135°23.9′	10	3.6
②	9月27日	03:40	大阪府北部	34°57.9′	135°24.1′	10	3.0

地域	震度観測点	所属	各地の震度		地域	震度観測点	所属	各地の震度	
			①	②				①	②
北 部	福知山市内記	気	-	-	南 部	京都伏見区竹田	自	-	-
	福知山市長田野町	防	-	-		京都伏見区醍醐	自	-	-
	福知山市三和町千束	自	1	-		京都山科区安朱川向町	防	-	-
	福知山市夜久野町額田	自	-	-		京都山科区西野	自	-	-
	福知山市大江町河守	自	-	-		京都西京区櫻原	自	1	-
	舞鶴市下福井	気	-	-		京都西京区大枝	自	1	-
	舞鶴市浜	防	-	-		宇治市宇治琵琶	気	1	-
	舞鶴市北吸	自	-	-		宇治市折居台	防	-	-
	綾部市若竹町	自	-	-		亀岡市安町	気	2	1
	宮津市柳縄手	自	-	-		亀岡市余部町	防	1	-
	伊根町亀島	防	-	-		城陽市寺田	自	-	-
	伊根町日出	自	-	-		向日市寺戸町	自	-	-
	京丹後市弥栄町吉沢	気	-	-		長岡京市開田	自	-	-
	京丹後市久美浜町広瀬	防	-	-		八幡市八幡	自	1	-
	京丹後市峰山町	自	-	-		大山崎町円明寺	自	1	-
	京丹後市大宮町	自	-	-		久御山町田井	自	-	-
	京丹後市丹後町	自	-	-		京田辺市田辺	自	-	-
	京丹後市久美浜市民局	自	-	-		井手町井手	自	-	-
	京丹後市網野町	自	-	-		宇治田原町立川	自	-	-
	京丹後市弥栄町溝谷	自	-	-		笠置町笠置	自	-	-
与謝野町加悦	自	-	-	和束町釜塚	自	-	-		
与謝野町岩滝	自	-	-	精華町南稲八妻	自	-	-		
与謝野町四辻	自	-	-	南山城村北大河原	自	-	-		
南 部	京都北区大宮西脇台町	自	-	-	京丹波町坂原	気	-	-	
	京都上京区藪ノ内町	自	-	-	京丹波町橋爪	自	1	-	
	京都左京区広河原能見町	防	-	-	京丹波町本庄	自	-	-	
	京都左京区田中	自	-	-	京丹波町蒲生	自	1	-	
	京都中京区西ノ京	気	1	-	南丹市美山町島	自	-	-	
	京都中京区河原町御池	自	-	-	南丹市日吉町保野田	自	1	-	
	京都東山区清水	自	-	-	南丹市八木町八木	自	1	-	
	京都下京区河原町塩小路	自	-	-	南丹市園部町小椋町	自	1	-	
	京都南区西九条	自	-	-	木津川市加茂町里	自	-	-	
	京都右京区京北周山町	自	1	-	木津川市木津	自	-	-	
	京都右京区太秦	自	-	-	木津川市山城町上粕	自	-	-	

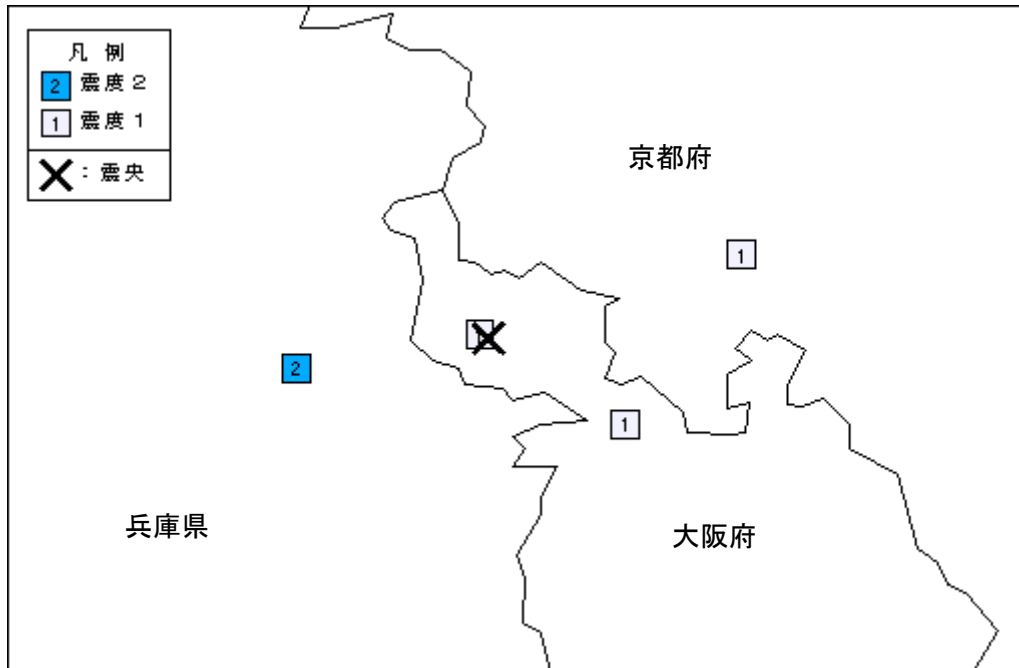
注1：所属のうち、「気」は「気象庁」、「防」は「防災科学技術研究所」、「自」は「自治体」を示しています。

注2：表○数字は、9月に京都府内で震度1以上の揺れを観測した地震番号を表しています。

① 9月26日 23時13分 大阪府北部の地震 (M3.6、深さ10km) の震度分布図 (上図：地域別、下図：観測点別)



② 9月27日 03時40分 大阪府北部の地震 (M3.0、深さ10km) の震度分布図 (観測点別)



【地震一口メモ】

11月5日は津波防災の日です

平成23年(2011年)3月11日、東北地方太平洋沖地震に伴う大規模な津波災害により、特に東北地方の太平洋沿岸地域において、多数の尊い命が奪われました。これを受け、同年6月には「津波対策の推進に関する法律」(平成23年6月24日法律第77号)が制定され、その中で毎年11月5日を「津波防災の日」と定め、国民の間に広く津波対策についての理解と関心を深めるようにすることとされています。ではなぜ3月11日ではなく、11月5日が「津波防災の日」となっているのでしょうか。これは、旧暦1854年(安政元年)11月5日に起きた安政南海地震で、大津波が和歌山県を襲った際に、濱口梧陵が稲むらに火をつけて、村人を高台に誘導し命を救った「稲むらの火」の逸話にちなんでいます。

毎年、津波防災の日にあわせ、気象庁では緊急地震速報の全国的な訓練を実施しており、今年(令和5年)は、11月2日(木)に予定しています。緊急地震速報は見聞きしてから強い揺れに襲われるまでの時間のごくわずかです。その短い間に慌てずに身を守るなどの防災対応をとり、強い揺れや、その後くるかもしれない津波に備えるためには日頃からの訓練が重要です。この機会に参加してみましょう。

ところで、気象庁で保有している津波観測値データ(1927年から現在まで)によると、京都府沿岸で最大の津波をもたらした地震は、1964年6月16日13時01分に発生した新潟県下越沖の地震(命名:新潟地震)であり、宮津港で115cm(舞鶴港で57cm)を観測しました。また、津波警報等解除後の現地調査による観測データでは、1983年5月26日に発生した秋田県沖の地震(命名:昭和58年(1983年)日本海中部地震)により、舞鶴市野原で痕跡高から2.3mの津波があったとの記録があります。もっと昔の記録となると文献から知ることとなり「日本被害津波総覧(渡辺偉夫著)」によると、日本海でたびたび津波を伴う地震は発生していますが、京都府沿岸で津波を観測したという記載はありません。



日本海中部地震による津波被害の様子
(舞鶴市野原港。5月27日12時15分。舞鶴海洋気象台撮影。
倉庫入口の半分の高さまで浸水の跡がある(暗色部))
気象庁技術報告 第106号(1984年)より

気象庁ホームページ「緊急地震速報の訓練(令和5年11月2日)」

<https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/kunren/2023/02/kunren.html>

和歌山県広川町ホームページ「稲むらの火の館 資料室 【稲むらの火】～安政地震津波の顛末～」

https://www.town.hirogawa.wakayama.jp/inamuranohi/siryo_inamura.html